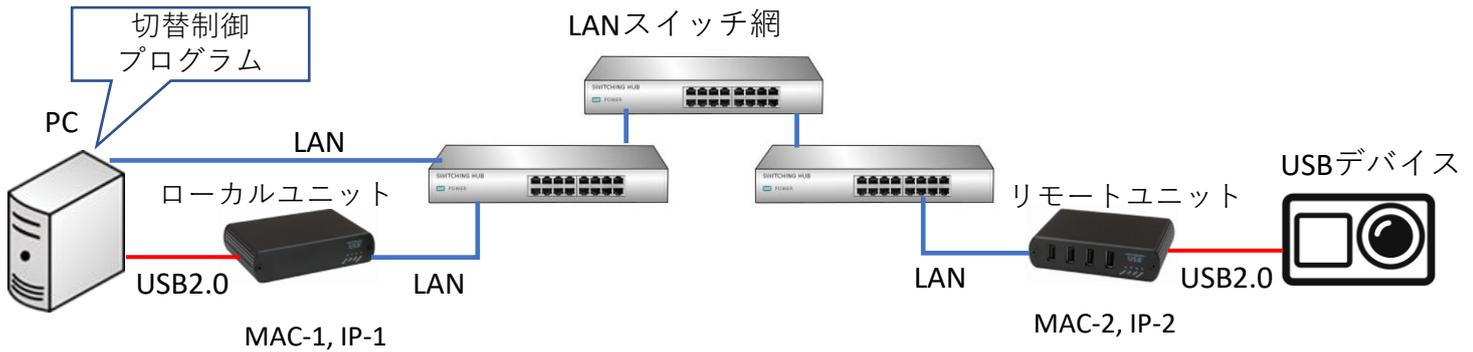
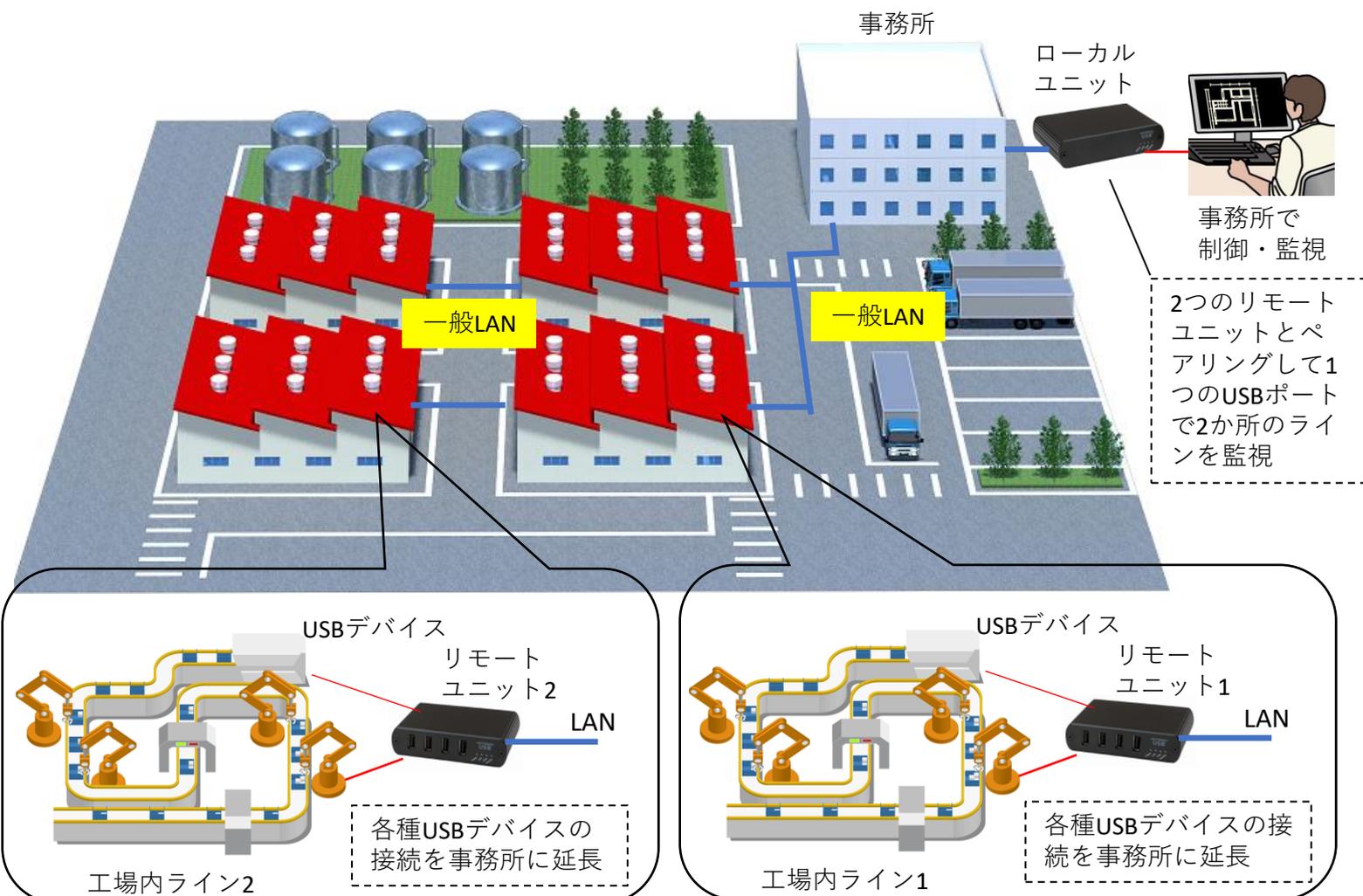


① UOL30xの動作原理

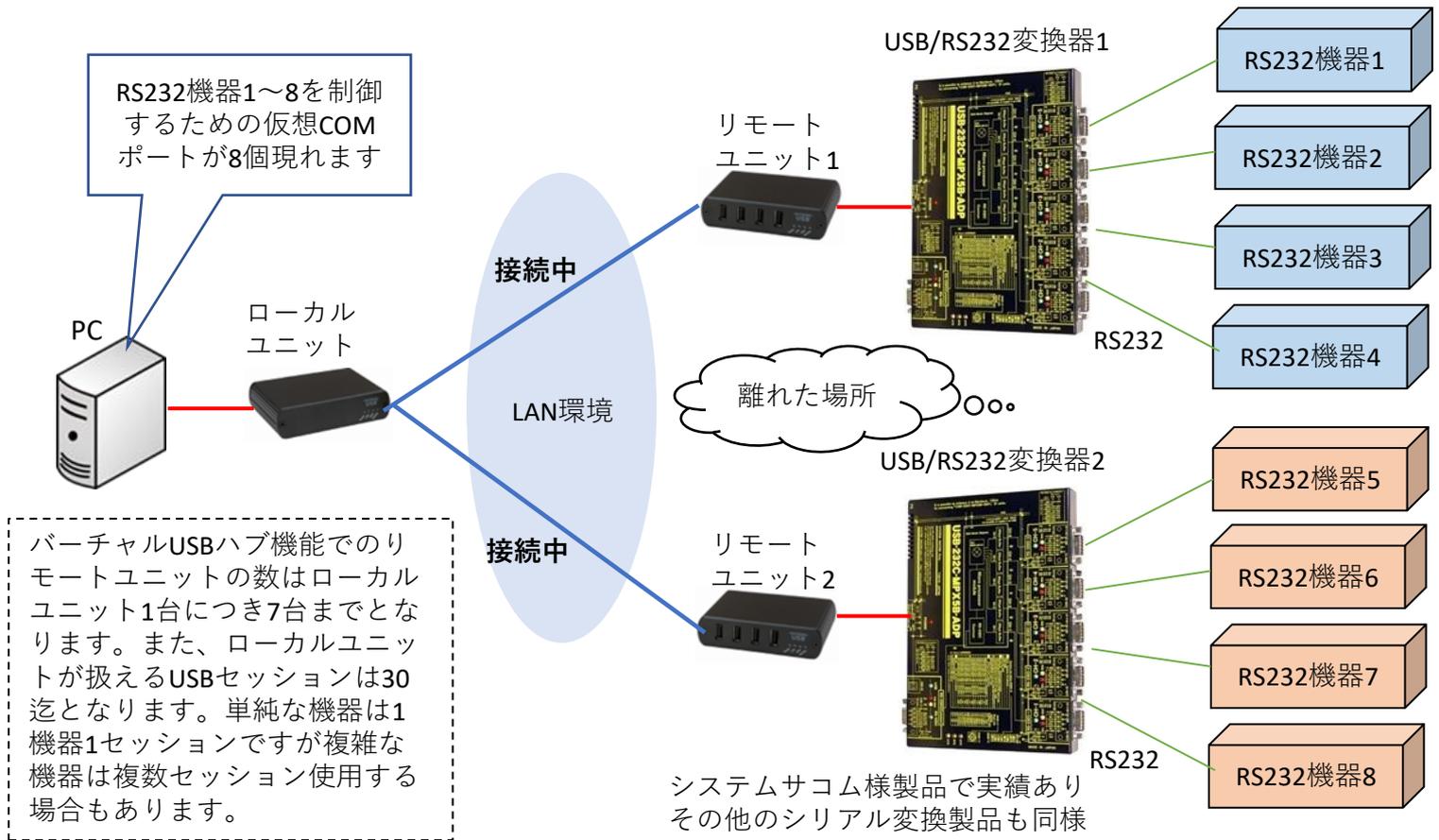


- USB2.0データはEthernetフレームに直収されLayer2形式で伝搬されます。IPプロトコルは使いません。
- 各データフレームは相手のユニットのMACアドレスを基にLANスイッチ網を転送されます。ユニキャスト通信を行うため既存のトラフィックにはほとんど影響を与えません。
- LANスイッチを多段にしたネットワークや100Mスイッチにも対応します。但しUSBデバイスの応答時間制限等により完全な性能が出ない場合もあります。弊社評価機で事前確認ください。
- ローカル/リモートのペアリング切替のためののみIP/UDPパケットが使用されます。
- 切替のためのMS-DOSコマンドが準備されており、BATファイルやPowerShell等の簡易プログラムから制御可能です。例 ペアリング指示：`xusbnetcfg.exe pair_to_device ユニットIP ペア相手のMAC` というコマンドをローカルとリモートのそれぞれに対して切替制御プログラムから実行します。
- バーチャルUSBハブ形態では、1つのローカルユニットに対して最大7台までのリモートユニットをペアリングできます。
- USB2.0規格で規定されている全ての転送モード(バルク、アイソクロナス等)に対応しています。
- ユニットに割り当てるIPアドレスはDHCPによる自動割当、又は静的IPアドレスを選べます。

② 事務所から離れた工場ラインの制御・監視を一般LAN経由で実現 バーチャルUSBハブの適用例1



③ RS232機器のリモート集約 バーチャルUSBハブの適用例2



④ センサー等のログデータの巡回収集 スイッチャブルUSBの適用例

